

令和8年度

(2026年度)

# 履 修 要 項

神戸大学文学部

# 文学部授業科目の履修について

令和8年度授業予定表	・・・	1
文学部専門科目開講予定一覧（令和8年度）	・・・	3
神戸大学文学部履修モデル（2026年度入学生）	・・・	5
授業科目・履修方法について（学部学生）	・・・	6
「GPA」について	・・・	10



# 令和8(2026)年度 全学共通授業科目授業予定表

## 前期

	日	月	火	水	木	金	土	行事
4月				1	2	3	4	・3/10(火)～3/16(月) 1Q教養科目等抽選登録(2年次以上)
	5	6	7	8 ①	9 ①	10 ①	11	・4/1(水) 前期開始 ・4/2(木) 入学式 ・4/8(水) 1Q授業開始
	12	13 ①	14 ①	15 ②	16 ②	17 ②	18	・4/8(月)～4/9(木)健康・スポーツ科学実習基礎 2次抽選登録(1年生)
	19	20 ②	21 ②	22 ③	23 ③	24 ③	25	・4/1(水)～4/21(火) 1Q・2Q履修登録期間
	26	27 ③	28 ③	29	30 ④			・4/22(水)～4/28(火) 1Q履修取消期間 ・4/29(水)「昭和の日」
5月						1 ④	2	・5/3(日)「憲法記念日」・5/4(月)「みどりの日」
	3	4	5	6	7 火④	8 水④	9	・5/5(火)「こどもの日」・5/6(水)「振替休日」
	10	11 ④	12 ⑤	13 ⑤	14 ⑤	15 ⑤	16	・5/7(木)～5/11(月) 2Q教養科目等抽選登録
	17	18 ⑤	19 ⑥	20 ⑥	21 ⑥	22 ⑥	23	・5/7(木)火曜日の授業実施日
	24	25 ⑥	26 ⑦	27 ⑦	28 ⑦	29 ⑦	30	・5/8(金)水曜日の授業実施日
	31							
6月		1 ⑦	2 ⑧	3 ⑧	4 ⑧	5 ⑧	6	・6/2(火)～6/8(月) 授業・定期試験期間(1Q)
	7	8 ⑧	9 予備日	10 ①	11 ①	12 ①	13	・6/9(火) 授業・定期試験期間(1Qの8回目)の予備日 (※1)
	14	15 ①	16 ①	17 ②	18 ②	19 ②	20	・6/10(水) 2Q授業開始
	21	22 ②	23 ②	24 ③	25 ③	26 ③	27	・6/24(水)～6/30(火) 2Q履修取消期間
	28	29 ③	30 ③					
7月				1 ④	2 ④	3 ④	4	・7/20(月)「海の日」
	5	6 ④	7 ④	8 ⑤	9 ⑤	10 ⑤	11	・7/22(水)月曜日の授業実施日
	12	13 ⑤	14 ⑤	15 ⑥	16 ⑥	17 ⑥	18	・7/30(木)～8/5(水) 授業・定期試験期間(2Q)
	19	20	21 ⑥	22 月⑥	23 ⑦	24 ⑦	25	
	26	27 ⑦	28 ⑦	29 ⑦	30 ⑧	31 ⑧		
8月							1	・8/6(木) 授業・定期試験期間(2Qの8回目)の予備日 (※1)
	2	3 ⑧	4 ⑧	5 ⑧	6 予備日	7	8	・8/11(火)「山の日」
	9	10	11	12	13	14	15	・8/27(木) 8/28(金) 再試験(1Q・2Q)
	16	17	18	19	20	21	22	・8/31(月)再試験の予備日(1Q・2Q)
	23	24	25	26	27 再試	28 再試	29	
	30	31 予備日						
9月			1	2	3	4	5	・9/7(月) 1Q・2Q成績発表
	6	7	8	9	10	11	12	・9/8(火)～9/11(金)3Q・4Q教養科目等抽選登録
	13	14	15	16	17	18	19	・9/21(月)「敬老の日」・9/22(火)「国民の休日」
	20	21	22	23	24	25	26	・9/23(水)「秋分の日」
	27	28	29	30				・9/30(水) 前期終了

注) ○数字は授業回数を示す。(例:①=1回目)

(※1)授業・定期試験期間に気象情報の発表等により  
休講・試験中止となった場合の補講・試験実施日



文学部専門科目開講予定一覧（令和8年度）

科目名	単位数	開講予定				GPA	備考
		前期		後期			
		1Q	2Q	3Q	4Q		
初年次セミナー	1	○				×	
*哲学入門	2	○	○			●	
*文学入門	2	○	○			●	
*史学入門	2	○	○			●	
*知識システム入門	2	○	○			●	
*社会文化入門	2	○	○			●	
人文学導入演習	2	○	○			○	
*人文学基礎・哲学	2			○	○	●	
*人文学基礎・国文学	2			○	○	●	
*人文学基礎・中国文学	2			○	○	●	
*人文学基礎・英米文学	2			○	○	●	
*人文学基礎・ドイツ文学	2			○	○	●	
*人文学基礎・フランス文学	2			○	○	●	
*人文学基礎・日本史学	2			○	○	●	
*人文学基礎・東洋史学	2			○	○	●	
*人文学基礎・西洋史学	2			○	○	●	
*人文学基礎・心理学	2			○	○	●	
*人文学基礎・言語学	2			○	○	●	
*人文学基礎・芸術学	2			○	○	●	
*人文学基礎・社会学	2			○	○	●	
*人文学基礎・美術史学	2			○	○	●	
*人文学基礎・地理学	2			○	○	●	
人文情報学	2					○	
西洋古典文学	2					○	
英語	1					○	
ドイツ語	1	○	○			○	
フランス語	1	○	○			○	
イタリア語	1					○	
中国語	1	○	○			○	
ロシア語	1	○	○			○	
韓国語	1	○	○	○	○	○	
西洋古典語	1	○	○	○	○	○	
グローバル英語力強化演習	2			○	○	○	
グローバル人文学特殊講義	2					○	
グローバル人文学専門英語	2	○	○	○	○	○	
グローバル・アクティブ・ラーニング	1			○	○	○	
オックスフォード夏季プログラム	2	○	○			○	
哲学概論	2	○	○			○	
哲学特殊講義	2			○	○	○	
哲学演習	2	○	○	○	○	○	
西洋哲学史	2	○	○			○	
西洋哲学史特殊講義	2	○	○			○	
西洋哲学史演習	2					○	
現代思想演習	2	○	○	○	○	○	
倫理学講義	2	○	○	○	○	○	
倫理学特殊講義	2					○	
倫理学演習	2	○	○	○	○	○	
応用倫理学講義	2					○	
応用倫理学演習	2					○	
科学哲学・科学思想史	2	○	○			○	
科学哲学・科学思想史演習	2	○	○			○	
論理学特殊講義	2					○	
宗教学	2					○	
比較思想演習	2					○	
外書講読	2	○	○	○	○	○	
国文学概論	2	○	○	○	○	○	
国文学史	2	○	○	○	○	○	
国文学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
国文学演習	2	○	○	○	○	○	
国語学概論	2	○	○	○	○	○	
国語学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
国語学演習	2	○	○	○	○	○	
日本語教育学	2					○	
中国文学概論	2	○	○	○	○	○	
中国文学史	2	○	○	○	○	○	
中国文学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
中国文学演習	2	○	○	○	○	○	
中国思想史	2					○	
中国思想特殊講義	2					○	
中国語学概論	2					○	
中国語学特殊講義	2					○	

科目名	単位数	開講予定				GPA	備考
		前期		後期			
		1Q	2Q	3Q	4Q		
中国語学演習	2	○	○	○	○	○	
英米文学概論	2					○	
イギリス文学史	2	○	○	○	○	○	
アメリカ文学史	2	○	○	○	○	○	
イギリス文学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
アメリカ文学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
イギリス文学演習	2	○	○	○	○	○	
アメリカ文学演習	2	○	○	○	○	○	
比較文学概論	2	○	○			○	
比較文学方法論	2					○	
比較文学特殊講義	2					○	
西洋比較文学論	2					○	
比較文学演習	2					○	
ドイツ文学史	2	○	○			○	
ドイツ文学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
ドイツ文学演習	2	○	○	○	○	○	
ドイツ語学特殊講義	2					○	
ドイツ語学演習	2	○	○	○	○	○	
フランス文学史	2					○	
フランス文学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
フランス文学演習	2	○	○	○	○	○	
フランス語学特殊講義	2					○	
フランス語学演習	2	○	○	○	○	○	
日本史	2	○	○	○	○	○	
日本古代中世史	2			○	○	○	
日本近世近代史	2	○	○			○	
古文書学	2	○	○			○	
日本史特殊講義	2	○	○	○	○	○	
日本史演習	2	○	○	○	○	○	
日本社会文化論特殊講義	2					○	
日本社会文化論演習	2			○	○	○	
地域史実習	1					○	
地域歴史遺産保全活用基礎論A	2	○	○			○	
地域歴史遺産保全活用基礎論B	2			○	○	○	
地域歴史遺産保全活用演習A	2	○	○			○	
地域歴史遺産保全活用演習B	2			○	○	○	
東洋史	2	○	○	○	○	○	
東洋古代中世史	2	○	○	○	○	○	
東洋近世近代史	2	○	○	○	○	○	
東洋史特殊講義	2	○	○	○	○	○	
東洋史演習	2	○	○	○	○	○	
西洋史	2	○	○	○	○	○	
西洋古代中世史	2	○	○	○	○	○	
西洋近世近代史	2			○	○	○	
西洋史特殊講義	2	○	○	○	○	○	
西洋史演習	2	○	○	○	○	○	
考古学	2	○	○			○	
心理学概論	2					○	隔年開講
心理統計I	2			○	○	○	
心理統計II	2	○	○			○	
心理学研究法	2	○	○			○	隔年開講
心理学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
心理学演習	2	○	○	○	○	○	
心理学初級実験実習I	2			○	○	○	
心理学初級実験実習II	2	○	○			○	
言語学概論	2	○	○			○	
言語学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
言語学各論	2					○	
言語学演習	2	○	○	○	○	○	
音声学	2	○	○			○	
音声学演習	2	○	○	○	○	○	
英語学概論	2			○	○	○	
英語学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
英語学演習	2	○	○	○	○	○	
芸術学概論	2	○	○	○	○	○	
メディア・アート基礎論	2	○	○			○	
メディア創造論	2			○	○	○	
芸術学各論	2	○	○			○	
芸術学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
芸術学演習	2	○	○	○	○	○	
メディア・アート論演習	2	○	○			○	

科目名	単位数	開講予定				GPA	備考
		前期		後期			
		1Q	2Q	3Q	4Q		
作品分析実習	2					○	
社会学概論	2	○	○			○	
社会学史	2	○	○	○	○	○	
社会調査演習I	2			○	○	○	
社会調査演習II	2	○	○			○	
社会学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
社会学講義	2	○	○			○	
社会学演習	2	○	○	○	○	○	
比較社会学	2			○	○	○	
社会人類学	2					○	
社会人類学演習	2又は4					○	
社会調査概論	2					○	隔年開講
社会調査方法論	2			○	○	○	隔年開講
社会分析法	2	○	○			○	隔年開講
社会統計学	2					○	隔年開講
量的調査法	2	○	○			○	隔年開講
質的調査法	2					○	隔年開講
マスコミ論	2					○	
社会思想史特殊講義	2	○	○			○	
美術史概論	2					○	
日本美術史	2	○	○	○	○	○	
西洋美術史	2	○	○	○	○	○	
アジア美術史	2					○	
近代造形史論	2					○	
比較造形文化論	2					○	
文化資源学	2					○	
美術史特殊講義	2	○	○	○	○	○	
日本美術史演習	2	○	○	○	○	○	
西洋美術史演習	2	○	○	○	○	○	
アジア美術史演習	2	○	○	○	○	○	
美術史調査法	2	○	○	○	○	○	
美術史資料演習	2	○	○	○	○	○	
視覚情報論演習	2					○	
地理学概論	2			○	○	○	
人文地理学	2			○	○	○	
地誌	2			○	○	○	
自然地理学	2	○	○			○	
地域環境学	2			○	○	○	
西洋地図史	2					○	
アジア地図史	2					○	
歴史地理学	2			○	○	○	
文化地理学	2					○	
地理学特殊講義	2	○	○	○	○	○	
地理学演習I	2	○	○	○	○	○	
地理学演習II	2	○	○	○	○	○	
地理学実習I	1	○	○	○	○	○	
地理学実習II	1	○	○	○	○	○	
文化財学	2	○	○			○	
景観文化財学	2	○	○			○	
人文情報学演習	2	○	○			○	
*卒業論文	10	○		○		除外	

科目名	単位数	開講予定				GPA	備考
		前期		後期			
		1Q	2Q	3Q	4Q		
グローバル人文学演習	2					○	
比較現代日本論特殊講義	2					○	
比較日本文化産業論特殊講義	2					○	
グローバル対話力演習	2			○	○	○	
音声言語	2	○	○			※○	
文章表現	2	○	○			※○	
漢文学	2	○	○	○	○	※○	
書道実技	1	○	○			※○	
英会話	1	○	○	○	○	※○	
英作文	2	○	○	○	○	※○	
比較文化	2	○	○	○	○	※○	
*国語科教育論A	2					※●	隔年開講
*国語科教育論B	2			○	○	※●	隔年開講
*国語科教育論C	2	○	○			※●	隔年開講
*国語科教育論D	2					※●	隔年開講
*地歴科教育論A	2					※●	隔年開講
*社会科・地歴科教育論A	2	○	○			※●	隔年開講
*英語科教育論C	2			○	○	※●	隔年開講
*英語科教育論E	2					※●	隔年開講
*中等教育事前・事後指導	1		○			×	
*中学校教育実地研究A	2		○			×	4年次後期に単位認定
*中学校教育実地研究B	2		○			×	
*高等学校教育実地研究	2		○			×	
*博物館概論	2			○	○	※●	
*博物館展示論	2			○	○	※●	
*博物館経営論	2	○	○			※●	
*博物館資料論	2	○	○			※●	
*博物館資料保存論	2			○	○	※●	
*博物館教育論	2			○	○	※●	
*博物館情報・メディア論	2	○	○			※●	
*博物館実習A I	1	○				×	A, B, C全て修得で、博物館実習(3単位)として4年次後期に単位認定
*博物館実習A II	1	○				×	
*博物館実習B I	1		○			×	
*博物館実習B II (実務実習)	1	○				×	
*博物館実習C (館園実習)	1		○			×	
*博物館実習	3		○			×	

【注1】

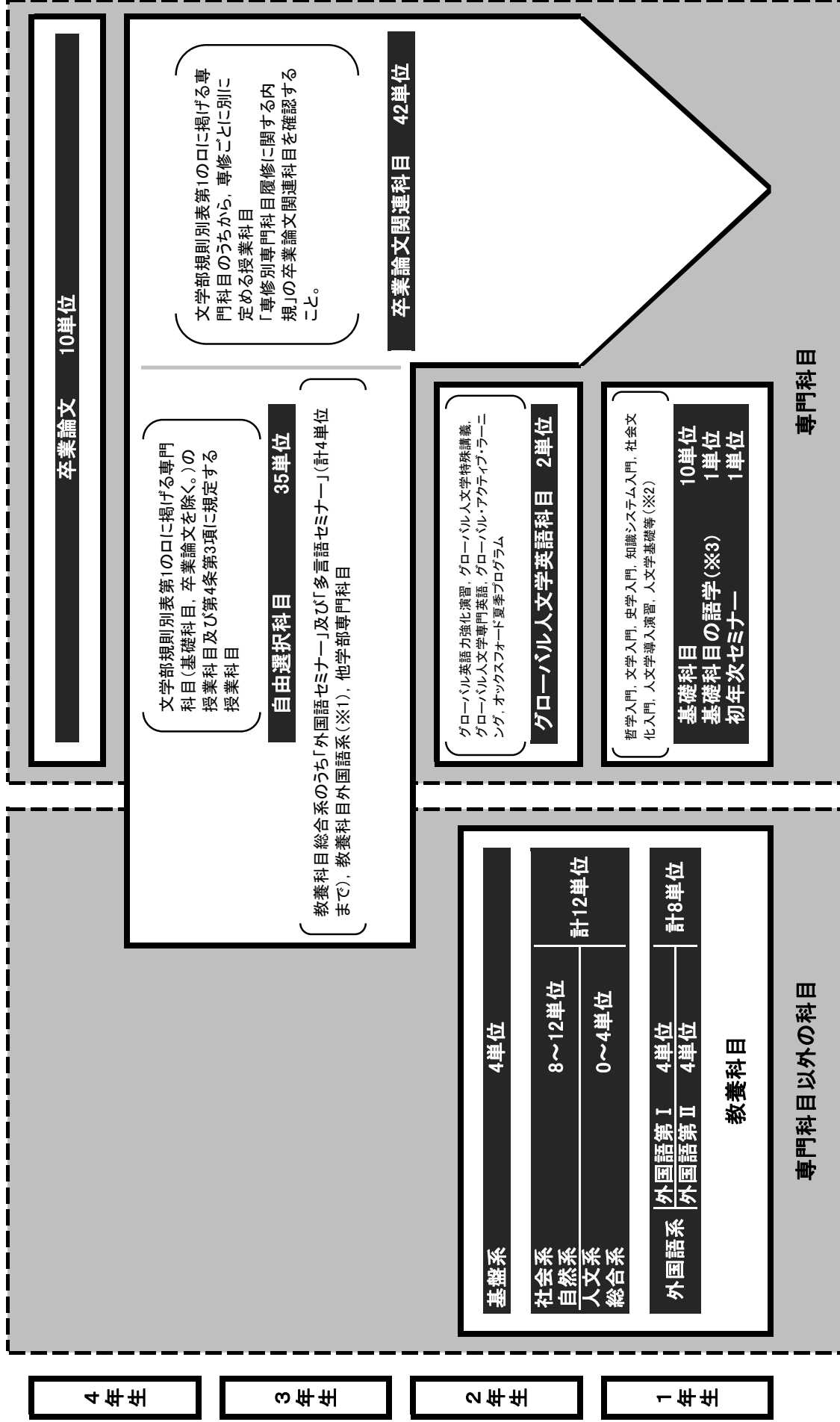
本表の授業科目は繰り返し履修が可能です。ただし、科目名の頭に\*印のついた科目は繰り返し履修できません。また、全学共通授業科目、他学部専門科目、資格免許のための科目(学務部開講)は基本的に繰り返し履修できません。

【注2】

GPA欄の表示について

- : GPA計算式に算入されます。繰り返し履修可の科目のため、過去の「不可」の成績(GP=0)はGPA計算式から除外されません。
  - ※○: 上記のとおり。ただし、「資格免許のための科目」が卒業要件から除外される学部(文学部など)の学生が履修した場合については、GPA計算式には算入されません。
  - : GPA計算式に算入されず。繰り返し履修不可の科目のため、不合格科目を再履修した場合、過去の「不可」の成績(GP=0)は再履修した学期以降のGPA計算式から除外されます。
  - ※●: 上記のとおり。ただし、「資格免許のための科目」が卒業要件から除外される学部(文学部など)の学生が履修した場合については、GPA計算式には算入されません。
  - ×: 成績を「合格」「不合格」で評価する科目のため、GPA計算式に算入されません。
- 除外: 文学部ではGPA計算式に算入されません。

# 神戸大学文学部履修モデル(2026年度入学生)



※1 教養科目 外国語系: 外国語第Ⅲは4単位まで修得できる。

※2 基礎科目のうち、西洋古典文学、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、中国語、ロシア語、韓国語、西洋古典語は、1年生から2年生の期間に履修することが望ましい。

※3 ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうち、教養科目 外国語系の外国語第Ⅱで選択したものと同一の外国語を履修しなければならない。

## 授業科目・履修方法について（学部学生）

本学部を卒業するのに必要な授業科目の履修及び必要単位の修得については、特に指定がない限り、入学時の学生便覧の「神戸大学教学規則」、「全学共通授業科目履修規則」、「神戸大学文学部規則」（以下「文学部規則」とする。）等によります。諸規則及び内規等を熟読し、誤りがないように単位を修得してください。諸規則及び内規等は、学生便覧に掲載されています。規則等は、入学後に変わる場合がありますが、特別に記載が無い限り、入学年度の規則が卒業まで適用されるので、必ず自分が入学時に配付された学生便覧を参照してください。

### 1. 授業科目の区分

本学部の授業科目の区分は、次のとおりです。区分ごとの授業科目は学生便覧「文学部規則」別表第1 授業科目及び単位数を参照してください。

また、下記の授業科目を、学生便覧の「文学部規則」別表第2 履修要件に従って履修してください。

#### (1) 教養科目 基盤系（全学共通授業科目）

「教養とは何か」「多言語と多文化の世界」「情報基礎」「データサイエンス基礎学」の4科目が該当します。これらの科目については、事前に履修登録されています。

なお、「情報基礎」の第1回目の授業で、履修登録や成績、授業教材等参照に使用するアカウント設定の説明があります。

#### (2) 教養科目 人文系・社会系・自然系・総合系（全学共通授業科目）

開講される授業科目群から選択し、履修してください。

なお、1年次は主に「第2クォーター」以降、抽選登録により履修することとなります。登録に関する詳細は「全学共通授業科目の履修について」を参照してください。

#### (3) 教養科目 外国語系（全学共通授業科目）

英語（外国語第Ⅰ）及びその他の外国語（外国語第Ⅱ）（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語）が該当します。これらの科目については、事前に履修登録されていますので、それぞれ定められたクラスの授業を履修してください。

#### (4) 専門科目

専門科目は、専門分野における学問内容を理解、習得するための授業科目です。

##### ① 基礎科目 初年次セミナー

神戸大学生として知っておくべき神戸大学の特徴や使命、また、大学生・文学部生として身につけるべき内容について解説します。

##### ② 基礎科目 ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語

基礎科目のうち、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語から、全学共通授業科目の外国語科目で選択した外国語を履修してください。

##### ③ 基礎科目 上記以外の科目

1年次は、大学の授業に慣れるための「人文学導入演習」及び文学部の概要をつかむ各講座の「入門」（前期開講）、2年次からの専修配属を見据えた専修ごとに開講する「人文学基礎」（後期開講）等を履修してください。

##### ④ グローバル人文学英語科目

可能な限り2年次に履修することが望ましいです。所属する専修の教員が開講しているクラスを受講してください。ただし、該当のクラスがない場合には、授業担当教員の許可のもと他専修のクラスを受講してください。

### ⑤ 卒業論文関連科目

所属する専修ごとに定められているので、学生便覧の「専修別専門科目履修に関する内規」を参照して履修してください。

### ⑥ 卒業論文

指導教員の指導のもと、論文を作成します。学生便覧の「卒業論文取扱に関する内規」を参照してください。

### ⑦ 自由選択科目

文学部専門科目（基礎科目、卒業論文を除く。）のうち、所属専修の卒業論文関連科目以外の科目及び、卒業に必要な単位数を超えて修得した卒業論文関連科目、臨時に開講される科目が含まれます。

## (5) その他の科目

① 一部の他学部専門科目も履修することができます。

② 大阪大学文学部等との交流協定により、同学部が履修可能と認めた科目を履修し、卒業要件にかかわるもののうち16単位までを修得することができます。

## (6) 資格免許のための科目

教員免許状ならびに学芸員資格を取得するためには、学生便覧の「教育職員免許状取得について」又は「学芸員資格取得に関する科目履修について」を参照して履修してください。なお、このうち本科目区分の授業科目は、卒業要件単位には含められません。また、後述するとおり年間の履修登録上限単位数に含みません。

## 2. 授業科目の履修及び受験

学生は、毎学期初めに公表する授業時間割表、教務情報システム上の講義題目（シラバス）により、履修する授業科目を選択し、定められた期間内に Web 上で履修登録をします。履修登録した後は、登録内容を PDF 出力し、各自で保管してください。

履修登録できる授業科目の総単位数は年間54単位が上限です。ただし、「資格免許のための科目」区分の授業科目はこの中には含みません。

### ※注意事項

- ・授業時間割表に学年・クラスを指定されている授業科目は、その指定に従って履修してください。なお、同一期限内に2つの授業科目を履修申請することはできません。
- ・授業科目名が複数ある授業については、卒業要件となる科目かどうか学生便覧で確認のうえ、自分が履修する科目を一つ選択し履修登録してください。
- ・履修登録期間中に登録した授業科目は、履修登録期間終了後は変更できないので注意してください。
- ・履修登録を行った科目について、やむを得ず途中で履修を中止したい場合、履修取消期間中に Web 上で履修取消を行ってください。
- ・履修登録していない授業科目を受講し試験を受験しても無効です。また、履修登録した科目と同一科目名でも担当教員が異なる科目を履修・受験した場合も無効となります。

### ※講義題目（シラバス）参照上の注意

- ・シラバスは教務情報システム「うりぼーネット」上で公開されます。詳しくは『教務情報システム「うりぼーネット」利用の手引き』をご覧ください。

### 3. 期末試験

試験は、その授業が終了したクォーター末又は学期末に実施します。担当教員によっては授業期間中に行うこともあります。また、平常の成績、レポートの提出等をもって試験に代えることもあります。本学部授業科目のレポート提出については、学生便覧の「レポート取扱内規」を参照してください。試験は、原則その授業を開講した教室で行います。

受験できるのは、あらかじめ履修登録を行った授業科目のみです。

一度修得した単位は取り消すことはできません。また、単位の取扱いについては、学生便覧の「単位の取扱内規」を参照してください。

#### (1) 受験上の注意事項

- ・試験の時間割及び試験室の指定は、その都度掲示します。
- ・机の上には受験のため許可された携帯品以外は置いてはいけません。
- ・受験の際には、学生証を携行してください。
- ・試験開始後20分は退出できません。また、20分経過後は入室を絶対に認めません。
- ・不正行為は厳に謹んでください。また、受験中誤解を招くような態度をとってはいけません。不正行為をした場合は、当該学期の履修科目の全成績を無効にし、保護者等に通知するなどの措置をとります。レポート試験においても同様の措置を行います。  
なお、レポート等に関する不正行為、例えば盗用（いわゆるコピー）は許されません。また、レポートを見せた者も不正行為とみなします。
- ・答案は必ず監督者に提出してください。  
答案用紙は試験室から絶対に持ち出してはいけません。

なお、学生便覧掲載の「試験及び論文・レポートにおける不正行為に関する申合せ」を併せて参照してください。

#### (2) 不合格科目の履修

不合格科目の単位を修得しようとするときは、次の学期以降に改めて履修し、受験してください。

全学共通授業科目のうち、クラス、学部等の指定のある授業科目を再履修しようとする場合は、抽選登録により再履修してください。詳細は「全学共通授業科目の履修について」を参照してください。

#### (3) 特別試験（追試験）

試験に欠席した場合の特別試験（追試験）は原則として行いません。ただし、やむを得ない事故等のため受験できなかった場合に限り行うことがあります。全学共通授業科目については、学生便覧の「教養教育院開講科目の追試験に関する内規」を、文学部授業科目については「文学部特別試験に関する内規」を参照してください。

#### (4) 学業成績

学業成績は、試験・レポート・出席状況等を考慮して決定され、合格点以上の成績に対して単位が与えられます。科目ごとの成績評価基準については、講義題目（シラバス）を参照してください。学業成績は、秀、優、良、可、不可で評価し、可以上を合格とします。成績はうりぼーネット上で確認できます。（該当学期の成績発表日以降に確認できます。）

履修した文学部開講科目の成績評価について質問・疑義等がある場合は、成績発表後、原則として1週間以内に文学部教務学生係に申し出てください。なお、他学部開講科目の成績評価に対する疑義申し立ては、開講部局の教務事務担当係に申し出てください。

#### 4. 専修の決定

本学部学生は、2年次から15ある専修のうち、いずれかの専修に所属します。1年次後期に志望する専修を学部長に届け出て、許可を受けなければなりません。専修を選ぶためにも、1年次前期開講の各講座の「入門」を履修し、1年次後期に各専修が開講する「人文学基礎」は興味のある専修のものを履修してください。

専修を決定するまでの日程は、文学部の掲示板にて発表します。

各専修には、入学年度ごとに学生収容限度数が設定されています。「専修別学生収容限度数について」及び「専修の所属変更に関する内規」を参照してください。1年次後期に休学している場合は志望する専修を届け出ることができないため、復学後に所属できる専修に制限が生じる可能性があることに留意してください。

# GPAについて

## I. GPAとは

GPAとは、下記「成績評価基準」(秀、優、良、可、不可)に基づいて評価した成績の単位数に、それぞれのGP (Grade Point) を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、1単位あたりのGP 平均値 (Average) です。

### 「成績評価基準」

評語名 (和文)	評語名 (英文)	最小点	最大点	GP
秀	S	90	100	4.3
優	A	80	89	4
良	B	70	79	3
可	C	60	69	2
不可	F	0	59	0

※「可」以上が「合格」となり、単位が修得できる。

## II. GPA計算について

$$\text{GPA} = \frac{\text{履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGP} \text{ の合計}}{\text{履修登録した科目の単位数合計 (不可を含む)}}$$

### 1. 履修登録した科目のうち、GPA計算式に入らない科目があります。

- ① 成績を「合格」で評価する科目
- ② 他大学等で単位修得し、神戸大学が「認定」とした科目
- ③ 履修取り消しをした科目 (以下「Ⅲ. 履修取消制度について」参照)
- ④ 資格免許のための科目 (教職科目、学芸員関連科目) (\*)  
(\* 一部の学部・研究科では計算式に入る科目があります。所属学部、研究科毎にお知らせします。)
- ⑤ 所属学部・研究科で指定した科目 (所属学部・研究科毎にお知らせします。)

### 2. 再履修をした場合、過去の「不可」の成績は、原則としてGPA計算式に入りません。

- ・「不可」(不合格)と成績評価された科目を、再び履修登録した場合、再履修した時の「不可～秀」(GP =0～4.3)の成績がGPA計算式に入り、当該科目について過去に付いた「不可」(GP=0)の成績が、再履修した学期以降のGPA計算式から除外されます。ただし、過去に計算されたGPA (学期)の値は変更されません。

※所属学部・研究科によっては「除外されない科目」がありますので注意してください。  
(所属学部・研究科毎にお知らせします。)

## Ⅲ. 履修取消制度について

学期初めに履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、クォーター毎に設けられる履修取消期間中に、履修を取り消すことができます。

### 〔履修取消期間〕

各クォーターの履修取消期間は別途掲示等でお知らせします。

### 〔取消の対象となる科目〕

以下のとおり、授業が始まるクォーターの履修取消期間に取消が可能です。

	取消の対象となる開講科目
第1クォーター履修取消期間	第1クォーター開講科目、前期開講科目、通年開講科目
第2クォーター履修取消期間	第2クォーター開講科目
第3クォーター履修取消期間	第3クォーター開講科目、後期開講科目
第4クォーター履修取消期間	第4クォーター開講科目

☆履修登録や履修取消は、原則として学生自らが「うりぼーネット」(Web)で行います。

- ・取り消した科目は、「履修科目一覧表」や「学業成績表」で確認でき、GPA計算式に入りません。
- ・履修取消期間中に取り消さなかった科目は、成績評価の対象となります。取り消さずに途中で履修を中止した場合、成績評価は「不可」(不合格)となり、GPA計算式に入りますので、注意してください。
- ・取り消した科目も「履修登録単位の上限(CAP制)」(\*)の単位数に入ります。  
履修登録前までに、各授業科目のシラバスで授業内容を必ず確認し、年間の履修計画をしっかりと立てた上で、履修登録と履修取消を行ってください。  
(\*「履修登録単位の上限(CAP制)」とは、年間又は学期毎に履修登録できる単位数の上限のことです。上限の単位数については、所属学部・研究科毎にお知らせします。)

- ・取り消した科目は、履修取消期間終了後、その開講期間中に再び受講(履修)することはできません。

※修学上の理由から、「履修取消ができない科目」と「履修取消期間中に取消ができない科目」があります。詳細については、所属学部・研究科毎にお知らせします。

#### IV. GPAの通知について(対象：学部生、一部の大学院生)

- ・成績評価及び「GPA」は学期毎に通知されます。併せて「科目GP(単位数×GP)」と「GPA(学期)」も通知されます。
- ・通知されたGPAにより、学期毎及び在学中の成績評価の平均値を確認し、学修成果の指標とすることができます。

☆成績評価とGPAは、学生自ら「うりぼーネット」(Web)で確認できます。

例えば、下記の成績照会画面(例)では、GPAは「3.11」です。2026年度前期のGPAは「3.00」でしたが、2026年度後期のGPAは「3.22」でしたので、後期の成績評価(平均)が、前期の成績評価(平均)より上昇したことがわかります。

成績照会画面(例)：「うりぼーネット」(Web) 単位修得状況照会

##### ■GPA

GPA	科目GP合計	計算単位数	計算日
3.11	118.0	38	2027年3月5日

※GPAは小数点第3位を四捨五入して表示されます。

##### ■GPA(学期)

年度	前期				後期			
	GPA(学期)	科目GP合計	計算単位数	計算日	GPA(学期)	科目GP合計	計算単位数	計算日
2026年度	3.00	60.0	20	2026年9月5日	3.22	58.0	18	2027年3月5日

No	区分	科目大区分	科目中区分	科目	単位数	修得年度	修得学期	評価	評語	科目GP	合否
1	全学共通授業科目	教養科目	総合系	〇〇〇〇	2.0	2026	前期	S	秀	8.6	合



# 全学共通授業科目の履修について

全学共通授業科目履修案内（令和8年度入学者用） . . . 12

全学共通授業科目におけるGPAの対象外科目について . . . 25



# 全学共通授業科目履修案内(令和8年度入学者用)

※ 専門科目など全学共通授業科目以外の履修については、開講学部の掲示等で確認してください。

## 1 全学共通授業科目の基本事項

### 全学共通授業科目とは

全学共通授業科目とは、本学の教学規則に定める授業科目のうち、教養科目(基盤系・人文系・社会系・自然系・総合系・外国語系・健康・スポーツ科学系)および専門教育の準備や導入となる共通専門基礎科目などの全学部に通ずる授業科目をいいます。全学共通授業科目の企画・運営は、教養教育院が行っています。

### 全学共通授業科目の履修について

#### 授業期間・授業時間・定期試験

##### ・授業期間

1年間を2学期に分け、4月～9月を「前期」、10月～3月を「後期」とし、前期・後期の授業期間をそれぞれ半分に分けた、各8週の授業期間を「クォーター」と呼びます。前期には第1・第2クォーター、後期には第3・第4クォーターがあります。第○クォーターを「○Q」と略して表記することがあります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏休み		第3クォーター		第4クォーター		春休み	

##### ・授業日程

授業日程は、教養教育院 WEB サイト>カレンダー>「全学共通授業科目授業予定表(PDF)」に PDF ファイルを掲載しています。

##### ・授業時間

授業は下記の時間帯に実施します。

授業時間は1コマ90分、1クォーターあたりの授業期間は8週間で実施します。

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
授業時間	8:50～ 10:20	10:40～ 12:10	13:20～ 14:50	15:10～ 16:40	17:00～ 18:30	18:50～ 20:20

\* 専門科目等各学部で行われる授業については異なる場合があります。

##### ・定期試験

定期試験は、主に各学期・各クォーターの最終週の1週間でを行います。定期試験は、通常授業とは異なる曜日・時間帯で実施する場合がありますので注意してください。なお、追試験は原則として行いませんが、急病・忌引き等により定期試験を受験できなかった場合、所定の手続きを期限までに行えば、追試験の受験を認めることがあります。

#### 全学共通授業科目の履修計画の立て方・登録の進め方

学部で定められている履修に関するルールを理解する

・卒業するために修得すべき単位(※1)数、履修可能な科目、各科目を履修する学年・学期、履修登録できる単位数の上限(※2)等について、所属学部の「学生便覧」で確認しましょう。

<p>時間割表・シラバス(※3)・教養教育院 WEB サイト&gt;履修案内をもとに、全学共通授業科目の履修計画を立てる</p> <p>*履修登録できる総単位数は各学部で上限が決まっています(CAP制)。詳細は所属学部の学生便覧などを確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割表等をもとに、<u>必修科目</u>が開講される曜日・時限を確認しましょう。</li> <li>→必修科目・選択必修科目・選択科目は、学部毎に定められており、所属学部の「学生便覧」で確認できます。</li> <li>・時間割表等をもとに、その学期に履修する<u>選択必修科目・選択科目</u>を考えます。</li> <li>・授業科目の内容は、うりぼーネット(※4)のシラバスで確認できます。</li> <li>・原則として、所属する学部・学科等により指定された曜日・時限(学部指定開講枠)の授業科目を履修しますので、時間割表等で確認してください。</li> <li>・科目によっては、学籍番号等により受講するクラスが指定されていることがありますので、時間割表で確認してください。</li> <li>・一度修得した場合、同じ科目名の授業を再度履修することはできません。</li> <li>・科目により履修登録の方法が異なりますので、各科目の履修登録方法をよく確認してください。</li> </ul>
--	--



<p>抽選登録(※5)を行う (健康・スポーツ科学実習基礎を除き、1年次1Q科目は抽選登録を行いません。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽選登録期間中にうりぼーネットで抽選登録を行います。</li> <li>・<u>教養科目(人文系・社会系・自然系・総合系)</u>は抽選登録の対象です。</li> <li>※一部、抽選登録以外で登録を行う科目もあります。</li> <li>・<u>教養科目(人文系・社会系・自然系・総合系)</u>は、1年次2Q科目から抽選登録が可能になります。</li> <li>・抽選登録期間は、教養教育院 WEB サイトで発表されます。</li> </ul>
<p>履修登録(※5)を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修登録期間中にうりぼーネットで履修登録を行います。</li> <li>2Qの科目も忘れずに登録してください。</li> <li>・履修登録期間は、学期開始前に発表されます。(以下ページを参照)</li> <li><a href="https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/registration/">https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/registration/</a></li> </ul>
<p>その他の方法で登録を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養教育院 WEB サイト&gt;履修案内&gt;履修登録方法&gt;「その他の登録」を確認してください</li> </ul>



<p>履修取消(※5)を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修登録を行った科目を、途中で受講を中止する場合は、履修取消期間中にうりぼーネットで履修取消を行うことができます。</li> <li>・抽選登録で当選した科目は原則履修取消を認めていません。また、事前登録科目は履修取消できません。なお、履修取消しても、その科目は履修登録上限単位数に含まれます。</li> <li>・履修取消期間は、以下のページで発表されます。</li> <li><a href="https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/registration/">https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/registration/</a></li> </ul>
--------------------	--

全学共通授業科目の授業の実施方法は、各科目のシラバスやBEEF+(神戸大学学習支援システム)に掲載します。

初回授業当日には BEEF+へのアクセスが集中することが予想されます。必ず初回授業の前日までに各科目の情報を確認し、必要なものはあらかじめ自分のパソコンにダウンロードしましょう。

また、遠隔授業に関する URL やパスワードは個人で保管し、SNS 等で公表はしないでください。

なお、履修登録が BEEF+に反映されるのは、履修登録した日の翌日からです。つまり、初回授業の前々日までに履修登録を完了している必要があります。

全学共通授業科目の履修登録や抽選登録期間については『3 全学共通授業科目に関する通知』にて示す方法でアナウンスをします。特に、2Q の履修登録期間や、後期(3Q4Q)の各登録期間を間違える人が多くいます。登録期間内に登録を忘れた場合は、授業を履修することはできません。必ず各登録期間内に登録をしてください。

\*後期(3Q4Q)の抽選登録は例年、夏休み期間に実施します。忘れないようにしてください。

## ▶ 用語の解説

### ※1 単位

授業科目の学修目標を達成するため、一定の基準に沿って必要な学修時間数が定められています。この時間数を単位といい、1単位は、授業と授業外の学修時間を合わせて合計45時間を要する内容であることを表します。単位数は科目により異なります。授業科目を履修し、学修目標を達成していると評価されれば、単位を修得できます。また、卒業の要件として学生が修得すべき単位数は各学部等において定められています。

### ※2 履修登録上限単位数

学期又は年間に履修登録できる単位数の上限が、学部・学科ごとに定められています。履修登録上限単位数は”CAP(キャップ)”とも呼びます。所属学部の「学生便覧」で具体的な単位数等を確認してください。

### ※3 シラバス

シラバスとは、各科目のテーマや授業計画、授業の概要等を確認することができる資料です。うりぼーネットのシラバスで内容を参照することができます。

### ※4 うりぼーネット

うりぼーネットとは神戸大学教務情報システムの愛称です。うりぼーネットの利用には、情報基盤センターが発行したアカウントが必要です。

### ※5 履修登録・抽選登録・履修取消

履修とは、ある科目を受講することです。履修するには、学生各自で科目を登録(履修登録)する必要があります。人数制限等のため、抽選の上、履修登録する(抽選登録)場合もあります。途中で履修を中止する場合には、履修取消期間に履修を取消することができます(履修取消)。

## ▶ 注意

- 大学側で事前登録を行う科目を除き、学生自身が、指定された期間中に登録の手続きを行う必要があります。
- 履修登録・抽選登録期間終了後に登録済みの科目を別の科目に変更することはできません。
- 登録間違いや登録漏れのまま受講しても、単位を修得できません。万一、登録間違いや登録漏れに気付いた時は、速やかに所属学部の教務担当係に相談してください。

## 2 令和8年度前期第1クォーター・第2クォーター全学共通授業科目の履修について(1年生向け)

### 1 全学共通授業科目の授業開始日

令和8年度前期の全学共通授業科目の授業は、4月8日(水)から行います。

詳細は、教養教育院 WEB サイト>カレンダー>「全学共通授業科目授業予定表(PDF)」を参照してください。

なお、所属学部専門科目の授業開始日は異なる場合があります。

### 2 1年生の令和8年度前期開講科目の登録方法

令和8年度前期開講科目について、授業科目区分ごとの登録方法は下表のとおりです。

履修登録・抽選登録の期間については以下に掲載しています。

<https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/registration/>

#### 【注意】

- ・所属する学部・学科等により指定された曜日・時限の授業科目(所属学部・学科の時間割表に記載されている授業科目)を履修してください。
- ・登録が完了していない授業科目は受講しても単位を修得できません。

授業科目の区分等		履修登録方法	
教養 科目	基盤系	③	
	人文系・社会系 自然系・総合系	② (一部科目④)	
	外国語系	外国語第Ⅰ	③
		外国語第Ⅱ	③
	健康・スポーツ科学系	実習基礎:② 講義:②	
共通専門基礎科目		① (一部科目④)	

- ①履修登録(履修登録期間内に履修登録手続が必要です。)
- ②抽選登録(抽選登録期間内に抽選への応募が必要です。)
- ③事前登録(大学側で登録を行います。)
- ④その他の方法で履修者の選抜を行う科目

### 3 科目別注意事項

#### 3.1 教養科目(基盤系)

登録方法:③事前登録(「教養とは何か」「多言語と多文化の世界」「情報基礎」「データサイエンス基礎学」)

大学側で事前登録していますので、アカウントを受け取った後、うりぼーネットの「履修登録・登録状況照会」で、登録されているクラスを確認してください。正しく登録されているか時間割表を確認し、誤りがある場合は学務課共通教育グループに申し出てください。再履修者対象に3Qにも開講します。

#### 3.2 教養科目(人文系・社会系・自然系・総合系)

登録方法:②抽選登録(一部の科目を除く)

【1次抽選】対象:配当学部・学科・年次生のみ対象。時間割表を確認してください。

#### 抽選登録の手順

(1)まず、所属学部(学科)にどの曜日・時限が割り当てられているか(※)確認します。

※所属する学部・学科等によって履修できる曜日・時限が決まっています。これを「学部指定開講枠」といいます。

具体的な曜日・時限は所属学部が配布する時間割表や、教養教育院 WEB サイト(下記)で確認しましょう。

<https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/#timetable>

(2)シラバスで各科目の内容を確認し、希望順位を決めます。

(3)抽選登録期間にうりぼーネットの「抽選登録」から、希望順位を登録します。

抽選登録の申込方法については、うりぼーネットのマニュアルを確認してください。

<https://www.uriboportal.ofc.kobe-u.ac.jp/uribo-net/>

\* 抽選登録期間であれば、申込の取消や申込順位を変更できます。詳細は、上記マニュアルを確認してください。

(4)自身が抽選登録した内容をうりぼーネットの「抽選申込内容確認」より確認します。

\*注意\*

・(3)登録手順で最後の「登録」ボタンを押さずに、『登録できたと思い込み、実際登録できていなかった』という事例がよくあります。

登録した後は、必ず「抽選申込内容確認」から、申込できていることを確認してください！

(5)抽選結果発表日、うりぼーネット>「履修登録・登録状況照会」にて当選科目を確認してください。

この照会画面で登録されていれば、すでに登録が完了していますので、自分で履修登録を行う必要はありません。

(注意)

●申し込んだ曜日・時限に科目が登録されていない場合は、以下の理由が考えられます。

・希望順位を登録したと思っていたが、正しく登録が完了できていなかった。

(このようなことがないよう、抽選登録期間中に(4)の確認を必ず行ってください。)

・すべての科目が落選した。

(特に5限に開講される科目は、履修希望者が多いため、落選する人数も多くなります。)

教養科目(人文系・社会系・自然系・総合系)を修得する必要がある学生は、必ず学部指定開講枠(1・2 限)の教養科目(人文系・社会系・自然系・総合系)にも登録を行ってください。)

・同じ曜日・時限にすでに別の科目が登録されていた。

(専門科目等と重複しないよう、よく確認してから登録してください。)

●原則として、抽選に当選し登録された授業科目は取消・変更できません。事前に専門科目等の時間割を確認した上で、抽選登録してください。(変更しなければならぬ明確な理由が生じた場合は、所属学部の教務担当係に申し出てください。)

●抽選で登録された授業科目を必ず確認の上、受講してください。(登録されていない科目を受講していた場合や、同じ授業科目名であっても別の時間割コードのクラスを受講していた場合、単位修得できません。)

●一つの曜日・時限に対し、二つ以上の科目区分で抽選に申し込みすると、複数の科目に当選した場合に履修登録の重複エラーが発生します。また、優先したい科目が当選するとは限りません。事前に優先する科目区分を決定した上で、一つの曜日・時限に一つの科目区分のみ抽選登録を行ってください。

**【2次抽選】** 対象:全学部生 手順:基本的に1次抽選と同じ

・抽選結果の発表後、空き定員のある授業科目を対象に、うりぼーネットで「2次抽選」を行います。

・1次抽選で当選している科目からの変更は認められません。

・学部指定開講枠にかかわらず、すべての曜日・時限について抽選登録が可能です。

ただし、すでに登録されている曜日・時限の抽選に応募しても、当選科目を登録することはできません。

・人数制限がありますので、抽選漏れとなり履修できない場合もあります。

**登録方法:④その他の方法(一部の科目のみ)**

初回授業で選抜を実施するなどの方法で履修登録を行う科目があります。

→該当する科目については、教養教育院 WEB サイトで周知します。登録方法の詳細も同サイトに掲載するのでよく確認してください。

### 3.3 教養科目(外国語系)

#### 登録方法:③事前登録

(2年次以降に履修する外国語選択科目は、履修登録・抽選登録などで登録します。各学期開始前に登録方法を確認してください。)

外国語のクラス番号は、所属学部ガイダンスで配布された資料もしくは、うりぼーネット“学籍情報”に記載されています。

具体的にどの授業を履修するかは、以下の手順で確認してください。

- (1) 外国語科目の時間割表で、クラス番号をもとに、時間割コードを確認する。  
(外国語科目の時間割表は、教養教育院 WEB サイト>時間割のページに掲載しています。)
- (2) うりぼーネットの履修状況の画面で、(1)で確認した時間割コードで正しく登録されているか確認する。  
大学側で事前登録を行いますので、自分で履修登録する必要はありません。

(注意)

- ・必ず指定されたクラスを受講してください。
- ・外国語第Ⅱ科目(ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語)は入学時に選択した言語を履修することになります。選択した言語以外を履修しても卒業要件単位に含まれません。
- ・原則として、大学側が事前登録した科目は取消・変更できません。変更しなければならない明確な理由が生じた場合は、所属学部の教務担当係に申し出てください。

事前登録 対象科目	外国語第Ⅰ科目 (英語)	Academic English Literacy A1、A2、B1、B2 Academic English Communication A1、A2、B1、B2
	外国語第Ⅱ科目 (ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語)	〇〇語初級 A1、B1、A2、B2、A3、B3、A4、B4 ※「〇〇語」は選択言語です。

#### ●外国語第Ⅰの英語選抜上級クラス(後期開講)および英語外部試験に基づく単位授与

令和8年度入学生の英語選抜上級クラスおよび単位授与については、現在調整中です。今後、教養教育院や外国語第Ⅰ教育委員会 WEB サイト等で案内します。

### 3.4 教養科目(健康・スポーツ科学系)

#### 登録方法:

《実習科目》→②抽選登録(1次抽選のみ)、④その他の方法(抽選後に定員に空きがある場合のみ)

- ・健康・スポーツ科学実習基礎は、原則対面授業にて実施します。各選択種目の概要は、シラバス及び教養教育院WEBサイトで案内します。内容を確認して、抽選登録を行ってください。
- ・初回授業の詳細は教養教育院 WEB サイトで案内します。  
履修案内>履修登録方法>科目で登録方法が異なるもの>教養科目(健康・スポーツ科学系) 実習科目の履修方法  
<https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/registration/>
- ・抽選登録後、定員に空きがある科目については、受講許可カード等を用いて履修登録できる場合があります。詳細は、教養教育院 WEB サイトおよび教養教育院掲示板(鶴甲第一キャンパス K 棟)に掲示予定です。

### 《講義科目》→②抽選登録

手順は教養科目(人文系・社会系・自然系・総合系)の抽選登録と基本的に同じですが、2次抽選は実施しません。

## 3.5 共通専門基礎科目(対象学部のみ)

### 登録方法:

### 《講義科目》→①履修登録

・所属する学部・学科等により、履修できる授業科目・曜日・時限が決まっています。

科目によっては、学籍番号などでさらに細かくクラスが指定されている場合がありますので、時間割表を確認の上、うりぼーネットで正しいクラスに登録してください

・必ず第1クォーター及び第2クォーター両方の開講科目を履修登録期間中に登録してください。

(履修登録漏れがあっても、履修登録期間終了後に追加登録を行うことはできません。)

### 《実験科目》→①各教育部会のサイトから事前登録後、履修登録

・所属する学部・学科等により、履修できる科目・曜日・時限が決まっています。

・必ず第1クォーター及び第2クォーター両方の開講科目を履修登録期間中に登録してください。

(履修登録漏れがあっても、履修登録期間終了後に追加登録を行うことはできません。)

・履修登録の前に、担当教員への連絡などが必要な場合があります。

各科目の履修方法について必ず下記URLで確認し、事前登録を行ってください。

物理学実験:<http://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-butsumi/pr/>

化学実験:<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-kagaku/index.html>

生物学実験:<http://www.edu.kobe-u.ac.jp/iphe-seibutu/>

## 3.6 その他

\* 後期全学共通授業科目の履修方法等については、教養教育院 WEB サイトにて案内をします。

\* 抽選登録や履修登録について、よくある質問を教養教育院 WEB サイト>履修案内>「FAQ よくある質問」に掲載しています。

<https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/registration/>

### 3 全学共通授業科目に関する通知

全学共通授業科目に関する通知・連絡は、通常は、主に教養教育院掲示板(鶴甲第1キャンパス K 棟)にて行います。必要に応じて、うりぼーネットの掲示板、教養教育院 WEB サイト(アドレスは下記枠内)を活用して通知を行う場合もありますので、日ごろから確認してください。

【注意】掲示を見落として不利益を受けたとしても、大学は責任を負いません。

#### 1 履修・授業・試験等

主に教養教育院掲示板で連絡しますが、必要に応じて教養教育院の WEB サイトやうりぼーネット掲示板にも併せて掲載する場合があります。

教養教育院 WEB サイト

<https://www.iphe.kobe-u.ac.jp/general-education-courses/>

学生向けポータルサイト うりぼーポータル

<https://www.uriboportal.ofc.kobe-u.ac.jp/>

(うりぼーポータルより教務情報システム「うりぼーネット」へ接続できます。)

#### 2 休講・補講

うりぼーネットの休講補講照会でお知らせします。

(授業担当教員より各科目の BEEF+で休講・補講について連絡することもあります。)

## 4 窓口

### 1 学務課共通教育グループ

全学共通授業科目に関すること全般(履修登録、抽選登録、定期試験・再試験・追試験等)、教養教育院が管理する教室の使用に関すること、全学共通授業科目における授業中の事故、盗難、拾得物に関する問い合わせは、学務課共通教育グループ(鶴甲第1キャンパスK棟)で受け付けています。

**※進級・卒業・履修登録単位数の上限に関することは、所属学部の教務担当係に問い合わせてください。**

<窓口業務時間> 平日 8:30～11:30、12:30～17:00

※11:30～12:30は入室できません

全学共通授業科目に関する疑問点については、まず学生便覧や時間割表、教養教育院WEBサイトをよく調べ、それでもわからなければ、共通教育グループへ連絡してください。

### 2 レポートの提出場所

全学共通授業科目のレポート提出は鶴甲第1キャンパス K 棟学務課事務室前のレポートボックスもしくは BEEF+を活用した提出方法があります。各科目の担当教員の指示に従い、期限までに提出してください。

#### 【注意】

- ・レポートには提出期限が設けられています。提出期限を過ぎたレポートは、**理由を問わず一切受領しません。**
- ・回収後に意図的に投函されたレポートは無効とします。
- ・誤って他のレポートボックスに入れた場合はすぐに学務課共通教育グループに申し出てください。そのままですと、担当教員には届きませんので成績評価ができません。
- ・平日の夜間及び休日はK棟建物内へ立ち入ることはできません。

### 3 その他

共通教育グループから重要な連絡がある場合は、各自の学籍番号メールアドレス\*1(1年生第1クォーター開講の「情報基礎」授業内で設定をします。)に連絡をします。

\*1 …Google Workspace\*2のアカウントに配布されているメールアドレスでは**ありません**。

\*2 …Google Workspaceの詳細については、神戸大学**情報基盤センターWEBサイト**を確認してください。

## 5 成績について

### 1 成績評価について

神戸大学の成績評価基準は、新入生ガイダンスで配付された学生便覧に掲載された「神戸大学共通細則」で定めています。授業科目ごとの学修目標、成績評価方法はシラバスで確認するとともに、初回授業内で担当教員から説明がありますので、不明な点がある場合は授業担当教員へ直接確認してください。

### 2 成績発表について

各クォーターにおいて成績発表日が決まっています。成績発表日にうりぼーネットの履修成績照会により、履修した授業科目の成績を確認することができます。成績発表日前に担当教員から学生への成績通知は行いません。また、学生からの成績照会には回答しません。なお、成績評価に対する申し立てを行うことができる制度がありますので、発表された成績に疑義がある場合にはこの制度を利用してください。

※各クォーターの成績発表日は、うりぼーポータル「授業／履修登録」カテゴリ内で確認することができます。学部によって、進級・卒業対象学生の発表日を変更していることがありますので、所属学部での掲示・通知を確認してください。

### 3 全学共通授業科目の成績評価に対する申し立てについて

履修した全学共通授業科目に関する成績評価について、当該授業科目の成績評価基準に照らして疑義がある場合は、成績評価について担当教員に説明を求めることができます。成績評価に対する申し立ては、成績評価の照会や評価の変更を願い出る制度ではありません。シラバスや授業内で示された学修目標・成績評価基準に照らし、成績評価に疑義を申し立てる正当な理由を有する場合にのみ、成績発表日から1週間以内にK棟共通教育グループ窓口で申し立ての事務手続きを行ってください。

### 4 不正行為について

全学共通授業科目の定期試験、成績を課すレポート(授業中に実施する小テストなど、成績評価の対象となる試験・提出物を含む)等において、不正行為があった場合は、その学期(前期の場合は第1クォーター及び第2クォーター、後期の場合は第3クォーター及び第4クォーター)に履修した全学共通授業科目の成績がすべて無効となります。

○定期試験または授業中における試験において、試験時間中に次の行為を実行した場合は、不正行為と認定することがあります。

- (1) 定期試験において、受験のために許可された物品以外(筆箱、下敷き、パソコン及び携帯電話等の通信機器を含む)を机上、または机の中に置いていた場合。
- (2) 持ち込みを許可されていないノート、教科書、配布資料、参考書、メモ等を参照していた場合。
- (3) 他人の答案を写す、または他人に答案を写させた場合
- (4) 受験者に代わって受験、または他人に代理受験を依頼した場合
- (5) 試験内容について私語を交わす、または試験を妨害した場合
- (6) 試験監督の指示に従わなかった場合
- (7) その他、試験の公正性を損なう行為や成績評価を妨げる行為を行った場合

○成績評価のために課すレポート等において、次の行為を実行した場合は不正行為と認定することがあります。

- (1) 他人の作成したレポート等の内容を書き写す(内容の一部を書き換えた場合を含む)、または他人にレポートの内容を作成させた場合
- (2) 故意に他人に作成したレポートの内容を書き写させる、または他人に作成したレポート等を提供した場合
- (3) レポート等の作成において剽窃(他人の著作物の内容等について出典を明記せず、自分の作成した内容とする等)した場合
- (4) レポート等の作成においてデータや画像の改ざん、捏造を行った場合
- (5) その他、レポート等の公正性を損なう行為や成績評価を妨げる行為を行った場合

※授業中に提出する小テスト、小レポート等の代筆について、代筆を依頼した学生、依頼されて代筆を行った学生共に

不正行為の対象となります。手の負傷等のやむを得ない事情がある場合は、事前に担当教員へ相談の上、指示に従ってください。

※レポート作成の際に不明な点がある場合は、担当教員に事前に確認の上、指示に従ってください。

※不正行為に関して、遠隔授業における注意点を追加で掲示する場合は、教養教育院 WEB サイトに掲載します。

## 6 授業の欠席について

### 1 通常の授業を欠席する場合

(対面授業の場合)

○欠席することがあらかじめ分かっている場合。(教育実習、介護等体験などを含む)

→事前の授業に出席した際、必ず担当教員に事情を説明してください。

定期健康診断と全学共通授業科目が重複する場合は授業を優先し、他の日時に健康診断を受検してください。

○急性の病気、忌引き(配偶者・二親等以内の親族)、不慮の事故、公共交通機関の大幅な遅延等で当日急遽欠席する場合。

→翌週の授業に出席した際、必ず担当教員に事情を説明してください。

どちらのケースも、教員に事情を説明する際、必ず欠席の理由が証明できるもの(診断書など)を教員に直接提出してください。授業の内容により、欠席に対する配慮ができないことがあります。・教員の連絡先について、事務では学生からの問い合わせに応じません。通常授業の欠席に対する配慮の可否については、授業担当教員が判断します。専門科目の実習や集中講義と全学共通授業科目が重複する場合は、事前に学務課共通教育グループに申し出てください。

(遠隔授業の場合)

対応は上記(対面授業の場合)と同じです。

メール等で教員に連絡する場合は、必ず自身の所属学部・学籍番号・氏名・連絡事項を適切に伝えるようにしてください。

【注意】 本学には「公欠」制度はありません。

- ・ただし、特例措置として激甚災害に伴う学生の休学等に関する神戸大学教学規則等の特例を定める規則第1条に定める激甚災害等に関するボランティア活動への参加による授業の欠席については公欠を願い出ることができますので、所属学部の教務担当係に申し出てください。
- ・病気や怪我などで2週間以上欠席する場合は「欠席届」を所属学部の教務担当係へ提出してください。(長期欠席を届け出る制度で、欠席に対する特別な配慮を届け出るものではありません。)
- ・裁判員制度により講義及び定期試験等をやむを得ず欠席する場合には、所属学部の教務担当係に申し出てください。
- ・課外活動については、正課(授業)が優先です。課外活動による欠席については、特別な配慮を行いません。(通常の欠席と同じ扱いになります。) なお、国際大会等に招集された場合は、学生支援課生活支援グループもしくは所属学部の教務担当係に相談してください。ただし、授業の性質上、配慮されない可能性もあります。

### 2 定期試験を欠席する場合

追試験は原則行いません。ただし、急性の病気、忌引(配偶者・二親等内の親族)、不慮の事故、公共交通機関の運休又は大幅な遅延、大学の授業科目として行われる実習(対象となるかどうかについて事前にK棟事務室共通教育グループで確認すること)、その他やむを得ない事由による場合には、本人の願い出により、認められることがあります。

なお、協定に基づく留学をする学生または神戸大学の教育プログラム(海外で実施されるものに限る)に参加する学生で、留学期間と全学共通授業科目の定期試験日が重なる場合は、定期試験の実施日の変更を認めることがあります。手続きの詳細については、「協定等に基づく留学に伴う全学共通授業科目の定期試験実施日の変更について」の掲示を、K棟掲示板又は教養教育院WEBサイトにて確認して下さい。

★遠隔授業・対面授業にかかわらず、定期試験の欠席について、詳細については教養教育院WEBサイト>定期試験の情報>「追試験の詳細」を確認してください

★交通機関の運休、気象警報の発表、避難指示・緊急安全確保の発令時における授業、定期試験の休講措置については、K棟掲示板又は神戸大学WEBサイト内うりぼーポータル>授業/履修登録>「休講措置に関するルール」を参考にしてください。  
「交通機関の運休、気象警報の発表、避難指示・緊急安全確保の発令時における授業、定期試験の休講措置について」

<https://www.uriboportal.ofc.kobe-u.ac.jp/class-courses/class-cancellation/>

★「授業・定期試験の休講措置」のルールの最新情報は上記サイトに掲載されますので、確認してください。

授業ごとに指示がある場合もあるので、BEEF+等でも確認してください。

6 全学共通授業科目におけるGPAの対象外科目について  
(令和7年度入学者から適用)

(平成24年5月31日 運営協議会決定)  
最終改正 令和6年12月26日  
適用年月日 令和7年4月1日

全学共通授業科目におけるGPAの対象外科目は、次の表のとおりとする。

授業科目の区分等		授 業 科 目	単 位	備 考
教養科目	基盤系	教養とは何か	1	可否評価
		多言語と多文化の世界	1	可否評価
		情報基礎	1	可否評価
	総合系	世界と日本	国際共修プロジェクト	1
共通専門基礎科目		物理学入門	1	可否評価
資格免許のための科目		日本国憲法1	1	
		日本国憲法2	1	

